

報道解禁 全国一斉

TV・ラジオ・インターネット

令和5年11月24日（金）17時以降

新聞

令和5年11月25日（土）付朝刊

島原市報道資料

令和5年11月22日

報道関係者 各位

### 国文化財の登録に係る答申について

標記の件について、下記の物件が、新たに登録すべき文化財として国の文化審議会から文部科学大臣に答申がなされる予定ですのでお知らせします。

また、このことについての市長コメントは別紙のとおりです。

### 記

#### 登録される登録有形文化財

つつみうちけじゅうたくおもや  
○堤内家住宅主屋（先魁町）

つつみうちけじゅうたくもんおよびいしべい  
○堤内家住宅門及び石堀（先魁町）

敷地内に既登録1件〔堤内家住宅亭〕平成31年3月29日登録

#### 備考

上記の登録により、島原市の登録有形文化財（建造物）は37件となります。

有明海にひらく湧水あふれる 火山と歴史の田園都市 島原

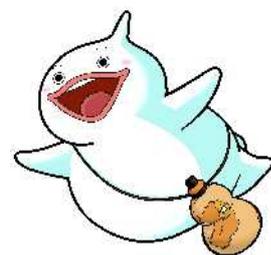


担当：島原市社会教育課 文化財保護推進室

担当 大津

電話：0957-68-1111（内線 651）

E-mail：shakyo@city.shimabara.lg.jp



島原守護神 しまばらん

## 国文化財登録に係る島原市長のコメント

この度、国の文化審議会が、本市に所在する「堤内家住宅主屋」、  
「堤内家住宅門及び石塀」を新たに国の文化財に登録するよう文部  
科学大臣に答申いたしました。

「堤内家住宅主屋」は、大正後期に建てられており、小部屋がず  
れながら続く雁行型で、旧城下の歴史的な景観を構成する近代和風  
住宅です。

「堤内家住宅門及び石塀」の、門については主屋と同じく大正後  
期に建てられ、石塀は江戸後期のものと推定されています。

更に主屋の敷地内には、平成31年に登録された「堤内家住宅亭」  
があり、場所については島原城跡三ノ丸南東に位置しています。

来年、島原城築城400年を迎えるにあたり、今回の国文化財登録  
は、現在、取り組んでいる島原城跡の国指定に向けても弾みがつく  
ものと存じます。

市内には他にも歴史的な文化財が数多くありますので、引き続い  
て保護・顕彰に努め、歴史と自然の豊かな城下町島原のまちづくりに  
邁進してまいります。

令和5年11月24日

島原市長 古川 隆三郎

令和5年11月14日

**報道解禁**

全国一斉

TV・ラジオ・インターネット

11月24日（金）17時以降

新聞

11月25日（土）付朝刊

長崎県教育庁 学芸文化課	島原市 教育委員会 文化財保護推進室
直通 095(894)3384	直通 0957(68)5473
山崎	大津

**国文化財の登録に係る答申について**

国の文化審議会（会長 <sup>さとろ</sup> 佐藤 <sup>まこと</sup> 信）は、令和5年11月24日（金）に開催される同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、新たに指定すべき文化財について、文部科学大臣に答申する予定です。

なお、登録の効力が生ずる官報告示の時期は未定ですが、登録されると、本県の登録有形文化財（建造物）は132件（63か所）となります。

**記**

登録有形文化財（建造物）

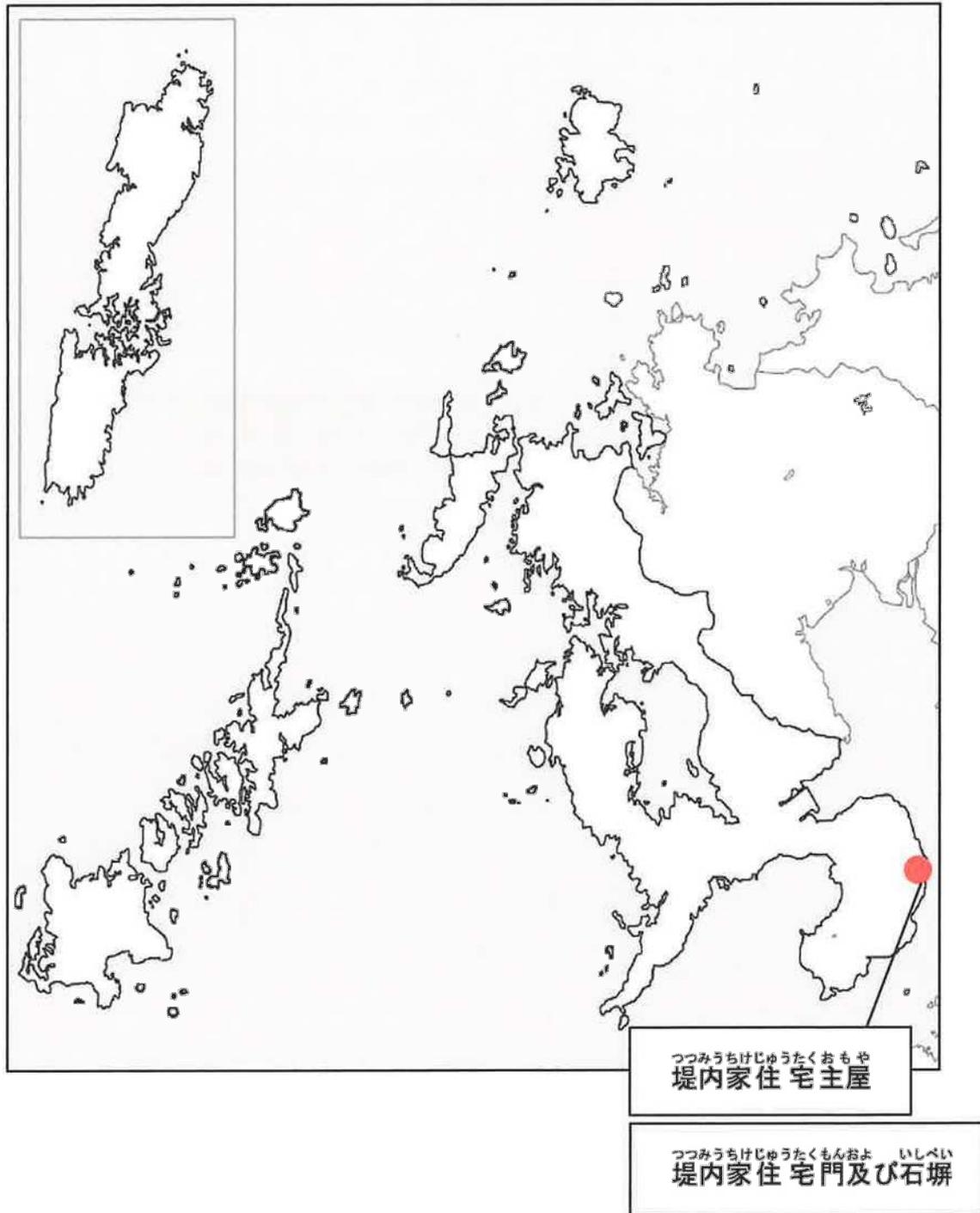
○堤内家住宅主屋 （島原市）  
（つつみうちけじゅうたくおもや）

○堤内家住宅門及び石塀 （島原市）  
（つつみうちけじゅうたくもんおよびいしべい）

敷地内に既登録1件〔堤内家住宅亭〕平成31年3月29日登録

※概要は別添のとおり

文化財の位置図



- |          |                               |
|----------|-------------------------------|
| 1. 名 称   | 堤内家住宅主屋<br>つつみうちけじゅうたくおもや     |
| 2. 員 数   | 1 棟                           |
| 3. 住 所   | 長崎県島原市先魁町 1 1 5 9 - 1         |
| 4. 構造形式  | 木造平屋建、切妻造り（一部寄棟造り）棧瓦葺         |
| 規 模      | 建築面積 1 3 2 . 4 m <sup>2</sup> |
| 5. 所有者氏名 | 堤内 信人、堤内 信子                   |
| 6. 建築年代  | 大正後期                          |
| 7. 価 値   |                               |

堤内家住宅は、島原城跡三の丸の南東部に位置する住宅の主屋。  
平屋建棧瓦葺で、東南庭に面して部屋を雁行して並べて縁を廻らし、西に玄関、南西に床構え付き座敷、北東に離れを配す。座敷の書院は組子を用いた繊細なつくり。

旧城下の歴史的な景観を構成する近代和風住宅。堤内家住宅主屋は、登録有形文化財登録基準の「一 国土の歴史的景観に寄与しているもの」に該当すると考えられる。



主屋外観



座敷

- |          |                                    |
|----------|------------------------------------|
| 1. 名 称   | 堤内家住宅門及び石塀<br>つつみうちけじゅうたくもんおよびいしべい |
| 2. 員 数   | 1基                                 |
| 3. 住 所   | 長崎県島原市先魁町1159-1                    |
| 4. 構造形式  | 門：石造        /    石塀：石造             |
| 規 模      | 間口：2.8m    /    延長：20m             |
| 5. 所有者氏名 | 堤内 信人、堤内 信子                        |
| 6. 建築年代  | 門：大正後期    /    石塀：江戸後期（推定）         |
| 7. 価 値   |                                    |

島原城跡三の丸南東部に位置する住宅の門及び石塀。門は基礎石上に立つ高さ二・三メートルの石造角柱で表面は粗い割石仕上とする。門両脇に続く石塀は安山岩を切込み矧ぎで積上げ、出隅に反りを付け上部に割石を積む。通りに面し旧城下の歴史的景観をつくる。

堤内家住宅門及び石塀は、登録有形文化財登録基準の「一 国土の歴史的景観に寄与しているもの」に該当すると考えられる。



門



石塀